



☆中部教育事務所管内の社会教育情報を発信します☆

## 久礼田公民館(南国市)の活動に学ぶ!

### 幡多地区社会教育連絡協議会(公民館部会)及び 幡多地区社会教育委員連絡協議会 合同研修会



1月31日、社会教育委員としての資質向上を図ることを目的に、幡多地区から14名の方が訪れました。川村館長の講話後、教室を始める時の費用や講師の選定について等多くの質問も出され、みなさんの意欲を感じたことでした。

「地域住民が 集い 楽しみ  
学ぶ を目指して」

久礼田公民館 川村 忠義館長

講話では、「地域の拠点となっていることを活かしプログラムを考えていく時、子どもから高齢者まで「多世代の交流の場」として、楽しみのある活動や、興味のもてる教室になるよう意識をしている。現役世代や高齢男性の参加が少ないことや、子育て世代の支援ができる体制づくりなど課題もあるが、みんなで協力しあいながらやっていきたい。」といった内容を中心に具体的な取組を話してくださいました。



久礼田史跡めぐりの様子



昼食後、地域の特性を活かした取組として行っている、『久礼田史跡めぐり』を体験してきました。最後に川村館長から、その地域ならではの公民館活動として、参考にしていただければとお話がありました。

# 地域の力！実践事例に学ぶ

## 高知県社会教育実践交流会



高知県教育委員会 生涯学習課 森課長



意見協議する愛媛県からの参加者



挨拶をする青年団(実行委員会メンバー)

2月25日、高知大学において県内各地で社会教育に係る関係者が一堂に集まる「高知県社会教育実践交流会」が開催されました。実践事例を学ぶことでネットワーク構築を図ることを目的としています。

島根県教育魅力化特命官の岩本悠氏を講師に迎え「人づくりによる地域づくり」の講演会を皮切りに、PTA、青年団、公民館、図書館、子ども会、婦人会等の社会教育実践が発表されました。

岩本氏の講演は、過疎で廃校寸前の島根県立隠岐島前高校を、ヒト・ワザ・チエを最大の資源にして、全国から志願者が集まる学校へ生まれ変えた実践事例でした。

地域に島外の人を入れることで、これまで刺激のなかった島内の住民が影響を受け、結果的に発想力・競争力などで成長し、地域の人間が身の回りの魅力を再発見したそうです。

分科会では、日頃活動しているグループとは違うメンバーで即席班を作り、意見交換を行い交流することもできました。

今年の会には、県内外から200名を超える方が集まり、参加者の熱い思いが伝わる会になりました。この会で得たものを参加された方がさらにスケールアップして、来年の「高知県社会教育実践交流会」で実践発表できたらいいですね。



- ・ 様々な社会教育団体の活動が行われていると思います。ぜひ、取組や情報を紹介させてください。中部教育事務所までご連絡をお願いします。 担当：濱田光男、野村郁（088-893-6166）